

「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

東大和市立第四小学校 3年

	各教科の課題	具体的な授業改善策	補充的・発展的学習指導計画	評価
国語	○自分の思いや考えを整理して書くこと	○例文を示す。 ○構成と内容の把握を丁寧に扱う。 ○書いた文を友達と推敲し合い、文章感覚を高める。	・書くことが苦手な児童には、例文を写したり、虫食いを埋めたりして文章を完成させられるように支援する。 ・書くことが得意な児童には、洗練できるよう表現技法の κατηγοリーを提示する。	B
社会	○学習問題を意識して解決しようと調べること	○単元の導入時に生活経験から問題を見い出せるよう導入を工夫する。 ○学習問題を確認してから調べる活動に取り組む。	・学習問題を意識することが苦手な児童には、実際に見聞きしたことから工夫や思いに気付けるよう個別に対話するなどの支援をする。 ・学習問題を意識して、すすんで調べることができる児童には、まとめもすすんで取り組めるよう、見通しを持たせておく。	A
算数	○問題を把握すること	○何が問われているのか全体で確認する。 ○解決の見通しを話し合う時間を設定する。 ○1単位時間の終末や、単元の習熟の時間等に、文章題に触れる機会を増やす。	・問題を把握することが苦手な児童には、問題を読み上げたり、イラスト化したりするなどの支援をする。 ・問題を把握し、すすんで解決することができる児童には、友達に教えるなど、思考力や表現力を高める活動に取り組めるようにする。	B
理科	○実験・観察の結果をまとめる際、差異点や共通点を言語化すること	○まとめの書き出しを提示する。 ○比較対象を可視化する。 ○差異、共通の観点でまとめを書く習慣が定着するよう、授業の終末をパターン化する。	・差異点や共通点を言語化するのが苦手な児童には、個別に対話したり動作化したりするなどの支援をする。 ・差異点や共通点を言語化するのが得意な児童には、一般化するなど考察を言語化できるようにする。	A
音楽	○表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けること	○楽しみながら音楽表現できるよう工夫する。 ・身体表現やリズム遊びなど、常時活動を行う。 ○リコーダーの基本奏法と運指の定着を図る。 ○読譜力の定着を図る。 ○視覚教材（DVD、映像など）を取り入れる。	・楽しく取り組める曲を選択する。 ・ハ長調の楽譜を読譜し、親しませる。	B
図工	○手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方を工夫してつくったり表したりすること	○基礎・基本的な表現技能の定着 ・水彩絵の具の混色技法、適切な道具の使い方について年間を通して指導し、定着を図る。 ・はさみ・のこぎり・カッターへの安全指導を徹底する。 ・机間指導による個別の支援を行う。	・児童の実態に合わせた題材を設定する。 ・板書を生かし既存学習の定着を図る。	B
体育	○自分の考えを相手に伝えること	○「かつどん（かんがえて・つたえて・どんどん運動）」を合言葉に学習を進めるよう声掛け、意識づけをする。 ○動きの感じをオノマトペで表したり、動きのポイントを体の部位にフォーカスして助言したりしている児童を称賛し、考えの伝え方をつかめるようにする。	・考えを相手に伝えることが苦手な児童には、動きの感じや動きのポイントを提示し、選択できるようにするなどの支援をする。 ・考えを相手に伝えることが得意な児童には、全体への共有の場面や振り返りの場面などで発表できるようにする。	A